

「月惑星に社会を作るための勉強会」

趣意書



2020 年 4 月

1. 名称

月惑星に社会を作るための勉強会 （略称：ムーンビレッジ勉強会）

2. 協賛

宇宙惑星居住科学連合

日本ロケット協会

3. 前身

2019年度に「探査の将来を考える勉強会」として6回の会合を継続して行い、毎回話題提供者を招いて、月惑星上に人類社会を構築するような大きなコンセプトのもとに、課題の抽出やアプローチの方法などについて議論をする場として活動してきました。

また、同年12月には、第3回ムーンビレッジ国際ワークショップを開催し、大勢の参加を得て、内外の国や民間の活動の紹介と意見交換がなされました。この勉強会のメンバーは、このワークショップ開催のLOC（地元開催委員会）としても活動をしてきました。

「月惑星に社会を作るための勉強会」は「探査の将来を考える勉強会」および「第3回ムーンビレッジ国際ワークショップ LOC」の理念を引継ぎ、新しい世界の構築に想像力を逞しくして一緒に考え、議論するプラットフォームとして活動します。

4. 勉強会の目的

人類の宇宙活動のある種の到達点として、宇宙に作るであろう持続的な社会の描像をすることを考えたいと思います。この考察は最近の月を巡る活動の次の目標を作るという意味でも有意義なことでしょう。大規模な持続的有人活動のための工学技術的な課題のみならず、地球への依存を減らし、自立性の高い社会を構成するための経済性や事業性、法的および文化的な側面に至るまで、既に確立した宇宙開発の成果やその手法を超えた、人類の新しい活動の土俵を作るための考え方や方法論について議論しておくことが求められます。

「月惑星に社会を作るための勉強会」は、持続的に宇宙に人が存在し社会を構築するために考えておくべきことを幅広く捉え、まずは月を手始めとして以下に述べるようなテーマについて議論するプラットフォームとしたいと思います。

- ・地球外の人類社会というシステムを構築するときの方法論
- ・政治、経済、倫理・哲学など持続可能な社会の仕組みや法規など
- ・ヒューマニティ、人文科学的に考えるべき事
- ・経済的自立性や商業利用・事業成立性
- ・有人滞在、資源エネルギー、輸送・サプライチェーンなど新しいアーキテクチャー

また、国の事業や学術研究に偏らず、民間やベンチャーなど事業の意識の高い人が自由にかつ積極的に参加できる環境を作り、それぞれの活動の紹介や意見交換が出来る場を作ることを目指したいと思います。

5. 世話人グループ

代表	: 稲谷 芳文
世話人	: 稲富 裕光, 大貫 美鈴, 小林 弘明, 坂本 勇樹, 笹村 舞実, 高橋 昭久 樋口 清司, 福永 美保子, 三井 雅美
アドバイザー	: 青木節子, 土井隆雄, 向井千秋
会計監査人	: 米華 克典

(参考)

◇「探査の将来を考える勉強会」の開催実績

第1回

日時：2019年8月30日（金）15時～17時

場所：TKP ガーデンシティ御茶ノ水 カンファレンスルーム 3E

【イントロダクション】稲谷 芳文 氏（宇宙研・教授）：

「ムーンビレッジのゴールを定義してみる」

【話題提供者】高橋 昭久 氏（群馬大・教授）：

「宇宙での長期滞在：宇宙放射線とガン死リスク」

第2回

【日時】2019年9月18日（水）15時～17時

【場所】X-NIHONBASHI

泉 龍太郎 氏（日本大学・教授）：「宇宙に滞在する人間の健康管理」

小林弘明 氏（宇宙研・准教授）：

「宇宙でのその場資源利用（ISRU）と水素エネルギー社会構築活動の接点」

第3回

【日時】2019年10月4日（水）15時～17時

【場所】X-NIHONBASHI

石川 正道 氏（理研・coordinator）：「月面ラボを拠点としたその場資源利用」

内田 敦 氏（三菱総研・主任研究員）：

「宇宙資源ビジネスの創出に向けたフロンティアビジネス研究会の活動」

第4回

【日時】2019年10月28日（月）15時～17時

【場所】X-NIHONBASHI

北宅 善昭 氏（大阪府立大・教授），唐原 一郎 氏（富山大・教授）：

「宇宙での食料生産・物質循環・健康維持機能を担う植物システムの構築」

第5回

【日時】2019年11月11日（月）15時～18時

【場所】X-NIHONBASHI

伊巻 和弥 氏（有人宇宙システム株式会社）：

「1000人の月面社会を運用する」

秋元 茂 氏（ミサワホーム（株）技術部）：

「南極昭和基地をベースにした宇宙での住まいの提案」

井上 夏彦 氏（JAXA 有人宇宙技術部門）：
「長期宇宙滞在時の精神心理的課題と対策について」

第6回

【日時】 2019年11月26日（火） 15時～18時

【場所】 X-NIHONBASHI

村上 祐資 氏（極地建築家/特定非営利活動法人フィールドアシスタント代表）：
「閉鎖環境の暮らしと人間社会」

小塚 莊一郎 氏（学習院大学・教授）：
「宇宙長期滞在の時代と法的課題」

春山 純一 氏（ISAS・助教）
「月探査の将来を考えるにあたっての科学的知見」

◇「第3回ムーンビレッジ国際ワークショップ」開催実績

3st International Moon Village Workshop

開催場所 : 東京理科大学（神楽坂キャンパス）、京都大学（吉田キャンパス）

開催期間 : 2019年12月5日（木）～ 8日（日）

参加人数 : 約240名

プログラム, アブストラクト集, 開催報告など: <http://www.jasma.info/mv2019/>

以上